

消火戦術及び技術訓練分野技術移転実績及び今後の計画 (案)

投入/年次		1997年 10 11 1 3	1998年 5 7 9 11 1 3	1999年 5 7 9 11 1 3	2000年 5 7 9 11 1 3	2001年 5 7 9 11 1 3	2002年 5 7 9	備 考
項 目	研修内容及び活動内容							
1. 専門家派遣 (長期・短期) 2. 研修員受入 (4名) 3. 機材供与	1. 専門家派遣 【長期専門家派遣】	← 阿部寛三 深瀬八郎 未定 未定 → 971215-990320 (1年4ヶ月) 990301-0003 (1年1ヶ月) 0003-0103 (1年1ヶ月) 0103-0203 (1年6ヶ月)						
	【短期専門家派遣】		⇔ 9-11	⇔⇔ 6-8 9-11	⇔⇔ 5-7 9-11	⇔ 09-11		
	2. カウンターパート配置							
	1) 王 徳生 (消火戦術)	*センター未配置 (非常勤)						980720-0909訪日
	2) 李 躍生 (消火戦術)	*センター未配置 (非常勤)						980720-0909訪日
	3) 楊 国甫 (救助技術)	← センター配置期間 →	(99年3月から市民防火防災分野へ異動)					
	4) 孔 凡泉 (救助技術)	← センター配置期間 →		⇔	配置予定			970203-0317訪日
	5) 韓 文冬 (救助技術)	← センター配置期間 →		⇔	配置予定			970203-0317訪日
	6) 宋 淵 (戦術担当)			⇔	配置予定			
	7) 曹 長春	*センター未配置						
	8) 干 永林	*センター未配置						
	9) 劉 春曉	*センター未配置						
	3. 供与機材							
	1) 高層訓練設備	←→	(98年5月到着、7月据付・調整完了)					←→ は供与年度を示す
	2) 濃煙熱気訓練設備	←→	(98年6月到着、8月据付完了)					
	3) 訓練用個人装備		←→	(第1回納入分98年9月、第2回分は98年12月到着)				
	4) 救助工作車		←→	(99年8月到着)				

消火戦術及び技術訓練分野技術移転実績及び今後の計画（案）

投入／年次		1997年				1998年				1999年				2000年				2001年				2002年		備 考			
		10	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3		5	7	9
項 目	研修内容及び活動内容																										
1) 研修期間 1～1.5ヶ月 2) 対象者 特勤隊長クラス及び 消防中隊長クラス 3) 受講者数 1期当たり30名 程度	5) 水ポンプ車																										
	6) 梯子車																										
	7) 火災現場指揮車																										
	8) 化学車																										
	4.技術移転計画																										
	1) 消防体制の比較																										
	2) 研修ニーズ調査																										
	3) 加圧水・テキストの現状調査																										
	4) 加圧水作成																										
	5) テキストの作成（翻訳含む）																										
	6) テキストの校正																										
	7) 加圧水・テキストの改定																										
	8) C/P（教官）指導																										
9) 研修生募集・選考																											
10) 1-1実施																											
11) 1-1評価																											
12) 研修修了者に関する フォロー																											
13) 1-1の改善																											

防火検査と監督分野技術移転計画（案）

投入／年次		1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	備 考
項 目	研修内容及び活動内容	10 11 1 3	5 7 9 11 1 3	5 7 9 11 1 3	5 7 9 11 1 3	5 7 9 11 1 3	5 7 9	
1. 専門家派遣 （長期・短期） 2. 研修員受入 （3名） 3. 機材供与	1. 専門家派遣 【長期専門家派遣】				←-----→ 2000.05～2002.09			
	【短期専門家派遣】				(資料作成) 6～8	(資料見直し) 7～9		
	2. カウンターパート配置							1999年度（1名） 2000年度（2名） 訪日研修参加予定
	1) 張 天久	*未配置						
	2) 王 東貴	*未配置						
	3) 胡 少軍	*未配置						
	3. 供与機材							
	1) 防火検査用資機材（1式）				←-----→			
	2)							
	3)							

防火検査と監督分野技術移転計画（案）

投入／年次		1997年				1998年				1999年				2000年				2001年				2002年			備 考	
項 目	研修内容及び活動内容	10	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5		7
1) 研修期間 7～10日間程度 2) 対象者 7.北京市消防局 (防火処、防火科、 消防処職員) 8.国家消防局の委託を受けた上記担当者) 3) 受講者数 1期当り30～50名程度	4.技術移転計画																									
	1) 消防体制の比較														◇											
	2) 研修ニーズ調査														◇											
	3) カリキュラム・テキストの現状調査														◇											
	4) カリキュラム作成														↔											
	5) テキスト作成（翻訳含む）														↔											
	6) カリキュラム・テキストの改訂																	↔								
	7) 教官・講師指導														←											
	8) 研修生募集・選考																☆	☆	☆	☆	☆					
	9) コース実施																	◇	◇	◇	◇	◇				*2001年度は4回実施予定。
	10) コース評価																		☆	☆	☆	☆	☆			
	11) 研修修了者に関する フィードバック																		☆	☆	☆	☆	☆			
12) コースの改善																		☆	☆				◇			

火災原因調査技術分野技術移転計画（案）

投入／年次		1997年				1998年				1999年				2000年				2001年				2002年				備 考
		10	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9
項 目	研修内容及び活動内容																									
1. 専門家派遣 （長期・短期） 2. 研修員受入 （2名） 3. 機材供与	1. 専門家派遣 【長期専門家派遣】													←-----→ 0003-0103（予定）												
	【短期専門家派遣】													←-→ 7-9				←-→ 3-5								
	2. カウンターパート配置																									
	1) 李 建林					*未配置																				2002.02-03 訪日予定
	2) 陳 雪綱					*未配置																				2002.02-03 訪日予定
	3) 陳 岩					*未配置																				
	3. 供与機材																									
	1) 火災原因調査用資機材（1式）													←-----→												
	2)																									
	3)																									

火災原因調査分野技術移転計画（案）

投入／年次		1997年				1998年				1999年				2000年				2001年				2002年			備 考
		10	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3		
項 目	研修内容及び活動内容																								
1) 研修期間 7～10日間程度 2) 対象者 7.北京市消防局 ・火災原因調査科 ・各支隊参謀人員 4.國家消防局 ・火災原因調査員 9.北京市防火処職員 3) 受講者数 1期当たり20名 程度 (注.対象者の外は新 たに追加するもので ある。	4 技術移転計画																								
	1) 消防体制のビュー												⇔												
	2) 研修コース調査												⇔												
	3) カリキュラム・テキストの現状調査												⇔												
	4) カリキュラム作成												↔												
	5) テキスト作成（翻訳含む）												↔												
	6) カリキュラム・テキストの改訂													←						→					
	7) 教官・講師指導													←						→					
	8) 研修生募集・選考													☆						☆					
	9) コース実施															⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔		・2001年度より年 間4回実施予 定。		
	10) コース評価															☆					⇔				
	11) 研修修了者に関する モニタリング															☆					⇔				
12) コースの改善																	☆				⇔				

市民防火防災教育指導分野技術移転実績及び今後の計画（案）

投入／年次		1997年				1998年				1999年				2000年				2001年				2002年			備 考
		10	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	
項 目	研修内容及び活動内容																								
1) 専門家派遣 (長期、短期) 2) 研修員受入 (2名) 3) 機材供与	1. 専門家派遣 【長期専門家派遣】	西村富男 990305-000319																							
	【短期専門家派遣】	(再)見直し 9-11 3-5 5-11 3-5																							
	2. カウンターパート配置																								
	1) 楊 国甫	センター配置期間																							
	2) 金 緯	センター配置期間																							
	3) 施 鴻偉	センター配置期間																							
	4) 趙 瑞峰	*未配置																							
	5) 朱 江	*未配置																							
	3 供与機材																								
	1) 市民防災指導設備	は供与年度 を表示す 供与機材取扱技 術指導(10月、 11月) 技術者派遣																							
	・模擬消火設備																								
	・煙体験装置																								
・地震体験装置(起震車)																									
・火災通報模擬訓練装置																									
2) 視聴覚資機材																									
3) 防災指導車																									

市民防火防災教育指導分野技術移転実績及び今後の計画（案）

投入／年次		研修内容及び活動内容	1997年				1998年				1999年				2000年				2001年				2002年			備 考	
			10	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5		7
取 目																											
1) 研修期間 2日間程度 2) 対象者 ア.事業所法人代表 イ.戦後消防隊中堅 スタッフ ウ.一般北京市民 (子供)等 エ.北京市外の見学 者 オ.防火処置員 3) 受講者数 1期当たり40～ 80名程度 (注:対象者(ウ)(オ) は、新たに追加し たものである。		4. 技術移転計画																									
		1) 消防体制のレビュー									⇔																
		2) 研修ニーズ調査									⇔																
		3) 教材・テキストの現状調査									⇔																
		4) 教育方針教材作成									◇																
		5) テキスト作成(翻訳含む)									↔																
		6) 教材・テキストの改訂												第1期分	第2期分											第1期分完了	
		7) 教官・講師指導																									
		8) 研修生募集・選考										◇															
		9) コース実施												1期													*2000年より年間 52コースを実施予定。
		10) コース評価														☆			↔				↔				
		11) 研修修了者に関する モニタリング														☆			↔				↔				毎コースごと 検証評価
	12) コースの改善																	↔				↔			◇	前コースの検証 評価の反映	

危険物防火安全管理分野技術移転計画（案）

投入／年次	項目	研修内容及び活動内容	1997年				1998年				1999年				2000年				2001年				2002年				備 考
			10	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9
1. 専門家派遣 （長期・短期） 2. 研修員受入 （2名） 3. 機材供与	1. 専門家派遣 【長期専門家派遣】														← 2000.06-2001.06 →												
	【短期専門家派遣】																		↔ 6-8								
	2. カウンターパート配置																										
	1) 趙 新文																										2000年度 訪日予定
	2) 原 震																										2000年度 訪日予定
	3. 供与機材																										
	1) 危険物検査器具（1式）														← →												
	2)																										
	3)																										

危険物防火安全管理分野技術移転計画（案）

投入ノ年次		1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	備 考
項 目	研修内容及び活動内容	10 11 1 3	5 7 9 11 1 3	5 7 9 11 1 3	5 7 9 11 1 3	5 7 9 11 1 3	5 7 9	
1) 研修期間 3～7日間程度 2) 対象者 7.北京地区 生産、使用、保管、 輸送、販売の担当者 （北京市以外 大型事業所の前記の 関係者） 8.北京市消防局職員 ・危険部 ・防火部 ・消防中隊幹部 3) 受講者数 1期当たり30～50 名程度 （注：対象者の内は 新たに追加したもの である。）	4. 技術移転計画							
	1) 消防体制のレビュー				◇			
	2) 研修コース調査				◇			
	3) カリキュラム・テキストの現状調査				◇			
	4) カリキュラム作成				↔			
	5) テキスト作成（翻訳含む）				↔			
	6) カリキュラム・テキストの改訂					↔		
	7) 教官・講師指導				↔			
	8) 研修生募集・選考				☆	☆		
	9) コース実施					◇ ◇ ◇	◇ ◇	
	10) コース評価					◇	◇	
	11) 研修修了者に関するモニタリング					◇	◇	
	12) コースの改善					◇	◇	

消防設備操作及びメンテナンス分野技術移転実績及び今後の計画（案）

投入／年次		1997年				1998年				1999年				2000年				2001年				2002年			備 考	
		10	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5		7
項 目	研修内容及び活動内容																									
1. 専門家派遣 (長期・短期) 2. 研修員受入 (2名) 3. 機材供与	1. 専門家派遣 【長期専門家派遣】					← 象本派遣 980416～990530 (1年2ヶ月) →																				
	【短期専門家派遣】					↔ 6～9			↔ 3～5			↔ 3～5		↔ 7～9 (消防見直し) (建築防火責任)												
	2. カウンターパート配置																									
	1) 陳 明 (CHEN MING)																									980203-0306訪日
	2) 張 鑫 (ZHANG XIN)																									980203-0306訪日
	3. 供与機材																									
	1) 防災システム																									
	4. 技術移転計画																									
	1) 消防体制のビュー																									
	2) 研修ニーズ調査																									
	3) 加圧システムテストの現状調査																									
	4) 加圧システム作成																									
	5) テスト作成 (翻訳含む)																									

消防設備操作及びメンテナンス分野技術移転実績及び今後の計画（案）

投入／年次		1997年 10 11 1 3	1998年 5 7 9 11 1 3	1999年 5 7 9 11 1 3	2000年 5 7 9 11 1 3	2001年 5 7 9 11 1 3	2002年 5 7 9	備 考
項 目	研修内容及び活動内容							
1) 研修期間 3～10日間程度	6) 教材・テキストの改訂							
2) 対象者 7.防火処置員 4.重点防火事業所の 消防設備管理員	7) 教官・講師指導							
	8) 研修生募集・選考							
3) 受講者数 1期当たり50名 程度	9) コース実施			1期 ☆ 2期 ☆☆ 3期 ☆☆	☆ ☆ ☆	☆ ☆ ☆	☆	99年度実施予定の第 2, 3期研修は 未 実施。
	10) コース評価			☆	☆ ☆ ☆	☆ ☆ ☆		
	11) 研修修了者に関する フィードバック			☆	☆ ☆ ☆	☆ ☆ ☆		
	12) コースの改善							

建築防火技術分野技術移転実績及び今後の計画（案）

投入／年次		1997年 10 11 1 3	1998年 5 7 9 11 1 3	1999年 5 7 9 11 1 3	2000年 5 7 9 11 1 3	2001年 5 7 9 11 1 3	2002年 5 7 9	備 考
項 目	研修内容及び活動内容							
1. 専門家派遣 （長期・短期） 2. 研修員要入 （3名） 3. 機材	1. 専門家派遣 【長期専門家派遣】			松山 豊 990514～000731				
	【短期専門家派遣】			⇔ 8～10	⇔ 7～9			
	2. カウンターパート配属							
	1) 佐 海壽			* 訪日研修帰国後、センター教官を辞職。				990510～0630 訪日
	2) 康 健			9月配属 ⇔				2001.02～3 訪日予定
	3) 劉 忠	* 未配置						* 2001年度（1名） 訪日予定
	4) 李 湧	* 未配置						
	5) 馮 慶如	* 未配置						
	3. 携行機材							
	1) パソコン（1式）							
	2) デジタルカメラ（1台）							
	3) 建築防火検査用機材							

建築防火技術分野技術移転実績及び今後の計画（案）

投入／年次		1997年 10 11 1 3	1998年 5 7 9 11 1 3	1999年 5 7 9 11 1 3	2000年 5 7 9 11 1 3	2001年 5 7 9 11 1 3	2002年 5 7 9	備 考	
項 目	研修内容及び活動内容								
1) 研修期間 3～7日間程度 2) 対象者 7.建築関係管理員 1.A. Bが建築設計 事務所設計者 9.国家消防局 (設計院・所・ 学校関係者) 8.消防中隊幹部 3) 受講者数 1期当たり20～50 名程度 (注.対象者(9)は 現在中国側と協議 中。 また、(4)について は、新たに追加し たものである。	4.技術移転計画								
	1) 消防体制の比較			◇					
	2) 研修コース調査			◇					
	3) カリキュラム・テキストの現状調査			◇					
	4) カリキュラム作成			◇					
	5) テキスト作成（翻訳含む）			↔					
	6) カリキュラム・テキストの改訂				←	→			
	7) 教官・講師指導			↔					
	8) 研修生募集・選考			◇		◇	◇		
	9) コース実施				◇	◇	◇	◇	*2000年度より年間 4コース実施予定。
	10) コース評価				☆	☆	☆		
	11) 研修修了者に関する モニタリング					☆	☆	☆	
	12) コースの改善					◇	◇		

付属資料 4. カウンターパートの配置計画

年月 カウンター パート 項目		1997 年	1998 年	1999 年	2000 年	2001 年	2002 年
		10. 11. 12	1. 4. 7. 10	1. 4. 7. 10	1. 4. 7. 10	1. 4. 7. 12	1. 4. 9
1. 消火戦術及び 技術訓練	1. 王徳志 (消火戦術)		←	非常勤高級教官			→
	2. 李躍生 (消火戦術)		←	非常勤高級教官			→
	3. 孔凡泉 (救助技術)		←	センター教官			→
	4. 韓文東 (救助技術)		←	センター教官			→
	5. 宋 泓 (消火戦術)			←	センター教官		→
	6. 張 良 (消火戦術)				←	センター教官	→
	7. 王 巖 (救助技術)			←	センター教官		→
	8. 譬立忠 (救助技術)			←	センター教官		→
2. 消防設備及び メンテナンス	1. 陳 明	← センター教官		1999 年 8 月 → 調 離			
	2. 張 鑫		← センター教官				→
	3.				←	センター教官	→

年月 カウンター パート 項目		1997 年	1998 年	1999 年	2000 年	2001 年	2002 年
		10. 11. 12	1. 4. 7. 10	1. 4. 7. 10	1. 4. 7. 10	1. 4. 7. 12	1. 4. 9
3. 市民防火防災 教育指導	1. 金 巍			センター教官			
	2. 施鴻偉			センター教官			
	3. 楊国甫			センター教官			
4. 建築防火技術	1. 佟海涛			訪日研修後 辞退	センター教官		
	2. 康 健					センター教官	
	3.						
5. 防火検査と監 督	1. 薛 端				センター教官		
	2.					センター教官	
	3.					センター教官	
6. 危険物安全管 理	1. 趙新文				センター教官		
	2.				センター教官		

年月 カウンター パート 項目		1997 年	1998 年	1999 年	2000 年	2001 年	2002 年
		10. 11. 12	1. 4. 7. 10	1. 4. 7. 10	1. 4. 7. 10	1. 4. 7. 12	1. 4. 9
7. 火災原因調査	1. 李建林				非常勤高級教官		
	2. 陳雪剛				センター教官		
8. プロジェクト 運営管理	1. 蘇向明	センター幹部					
		高級顧問					
	2. 陳益新	高級顧問					
	3. 張建国	センター幹部					
	4. 趙澤明				センター幹部		
	5. 劉建平						

研修実施実績

消火戦術及び技術訓練分野

回数	研修期間	研修対象者	研修内容	特記事項
第1回	98.10.19-11.13 (26日間)	24名 (北京市消防局7消防中隊に勤務する中隊長、隊長、隊員)	・救助技術	研修実施時の安全管理のためには専門家2人体制で望む必要があるとの指摘が専門家よりなされた。
第2回	99.6.28-7.5 (8日間)	32名 (北京市消防局、支隊、消防中隊に勤務する指揮者)	・指揮技術 ・消火戦術	中隊長クラスを一度に集めて研修を行う場合、長期間の拘束は困難であり、10日間位が限界であるとの問題提起が中国側よりなされた。(→これを受け研修期間を大幅に短縮することとした。)
第3回	99.7.26-8.13 (19日間)	40名 (第1～4支隊の各特別救助班員 20名) (北京消防訓練センター消防中隊員20名)	・救助技術	今後、研修効率を高めるためには研修生を数個班に分けた訓練実施が必要であり、そのためには当該分野のカウンターパートの増員(現在常勤2名→最低4名へ)が必要との指摘が専門家よりなされた。
第4回	99.9.20-10.22 (33日間)	25名 (北京消防訓練センター消防中隊員等)	・救助技術	10/22の開所式に向け、中国側の要望により開所式用の救助訓練を優先実施することとした。これにより、当初予定した基本的救助技術、救助資機材の取り扱い方法について、技術移転を行うことができなかった。

市民防火防災教育指導分野

回数	研修期間	研修対象者	研修内容	特記事項
第1回	99.11.29 (1日間)	40名 (北京市消防局の各県の防火監督処長) ※日本の消防署長に相当	・日本の市民防火防災指導体制の紹介 ・北京消防訓練センターの設置目的、役割・機能の紹介	上級幹部を対象とした研修として、当初目標を達成することはできたが、今後は実際に市民防火防災教育指導に従事する中堅幹部に対する研修も必要である。

消防設備操作及びメンテナンス分野

回数	研修期間	研修対象者	研修内容	特記事項
第1回	99.4.19-4.30 (10日間)	29名 (北京市消防局予防業務関係幹部職員)	・消防設備 ・点検実務 ・防災センター実務 ・防災施設見学 ・効果測定	専門家不在、カウンターパート不足(1名、しかも建築防火と兼任)等の理由により、予定された第2回目以降が実施されていない。

研修計画プロジェクト見直し案（太字は新規追加事項）

分野	対象者	受講者数（1期あたり）	研修期間	実施目標回数	実施済み回数
消火戦術及び技術訓練	・北京市消防局（特勤隊長クラス、消防中隊長クラス）	30名程度	1～1.5ヶ月程度	11回	4回
防火検査と監督	・北京市消防局（防火処、防火科、消防処職員） ・国家消防局の委託を受けた上記担当者	30～50名程度	7～10日間程度	5回	0回
火災原因調査技術	・北京市消防局（火災原因調査課、各支隊参謀人員） ・国家公安局（火災原因調査員） ・北京市防火処職員	20名程度	7～10日間程度	6回	0回
市民防火防災教育指導 ・集合教育研修 ・常時開設研修	・事業所法人代表 ・義務消防隊中堅スタッフ ・防火処職員 ・一般北京市民（子供等） ・北京市外からの見学者	40～80名程度	2日間程度 常時開設	15回 常時開設	0回 99.11.9開設
危険物防火安全管理	・北京地区（生産・使用・保管・輸送・販売担当者） ・北京地区以外（大型事業所の前記関係者） ・北京市消防局（危険処、防火処、消防中隊幹部）	30～50名程度	3～7日間程度	5回	0回
消防設備操作及びメンテナンス	・北京市消防局（防火処職員） ・重点防火事業所の消防設備管理員	50名程度	3～10日間程度	7回	1回
建築防火技術	・建築同意管理員 ・A・Bクラス建築設計事務所設計者 ・国家消防局（設計員・所・学校関係者）※中側と協議中 ・消防中隊幹部	20～50名程度	3～7日間程度	8回	0回

専門家派遣実績及び計画（見直し案）

投入／年次	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	備 考
取 引	8 11 1 3	5 7 9 11 1 3	5 7 9 11 1 3	5 7 9 11 1 3	5 7 9 11 1 3	5 7 9	
1. 長期専門家							運用指導調査後の判断結果
1) チーフアドバイザー		尾崎研哉 (971020-000315)			0003-0209 (2年6ヶ月)		
2) 防火検査と監督				0005-0209 (2年4ヶ月)			①プロジェクト外単行 / ②?
3) 業務視察員		田中越成 (971001-000930)			0009-0209		
4) 消火戦術及び技術訓練		佐藤寛三 (971215-990320)	澤藤八郎 (990305-000319)	0003-0103 (1年1ヶ月)	0103-0209 (1年6ヶ月)		③プロジェクト外単行
5) 市民防火防災教育指導			西村登男 (990305-000319)				
6) 火災原因調査技術				0003-0103 (1年1ヶ月)			
7) 消防設備操作及びメンテ		斎藤邦広 (980416-990530)					
8) 建築防火技術			黒山 隆 (990514-000731)				
9) 危険物防火管理安全				0006-0106 (1年1ヶ月) 5ヶ月			
2. 短期専門家							
1) 防火検査と監督				※1 6ヶ月 (3ヶ月)	7ヶ月 (3ヶ月)		
2) 消火戦術及び技術訓練		※11 (3ヶ月)	※11 (3ヶ月)	※2 ※11 (3ヶ月)	※11 (3ヶ月)		④プロジェクト外単行 (派遣時期要調整)
3) 市民防火防災教育指導			※11 (3ヶ月)	※11 (3ヶ月)			⑤長期専門家一本 (2000.5-2001.5)
4) 火災原因調査技術				※11 (3ヶ月)			⑥派遣延期中止
5) 消防設備操作及びメンテ		※11 (3ヶ月)	※11 (3ヶ月)	※11 (3ヶ月)			⑦派遣延期 (2000年度中盤以降)
6) 建築防火技術			※11 (3ヶ月)	※11 (3ヶ月)			
7) 危険物防火管理安全				※11 (3ヶ月)			

注. <=> := 投入実績, <--> := 投入計画, (①~⑦)=変更分

※1~4: 調査団では十分な議論ができていないため、リーダ合議

サイトプロジェクトより再度詳細情報を提供してもらうこととする。

※5: 年明け早急にプロジェクトより要請があったものであり、現時点では

十分な派遣の根拠が示されていないため、リーダ合議までに詳細情報を提供してもらうこととする。

北京消防訓練センター